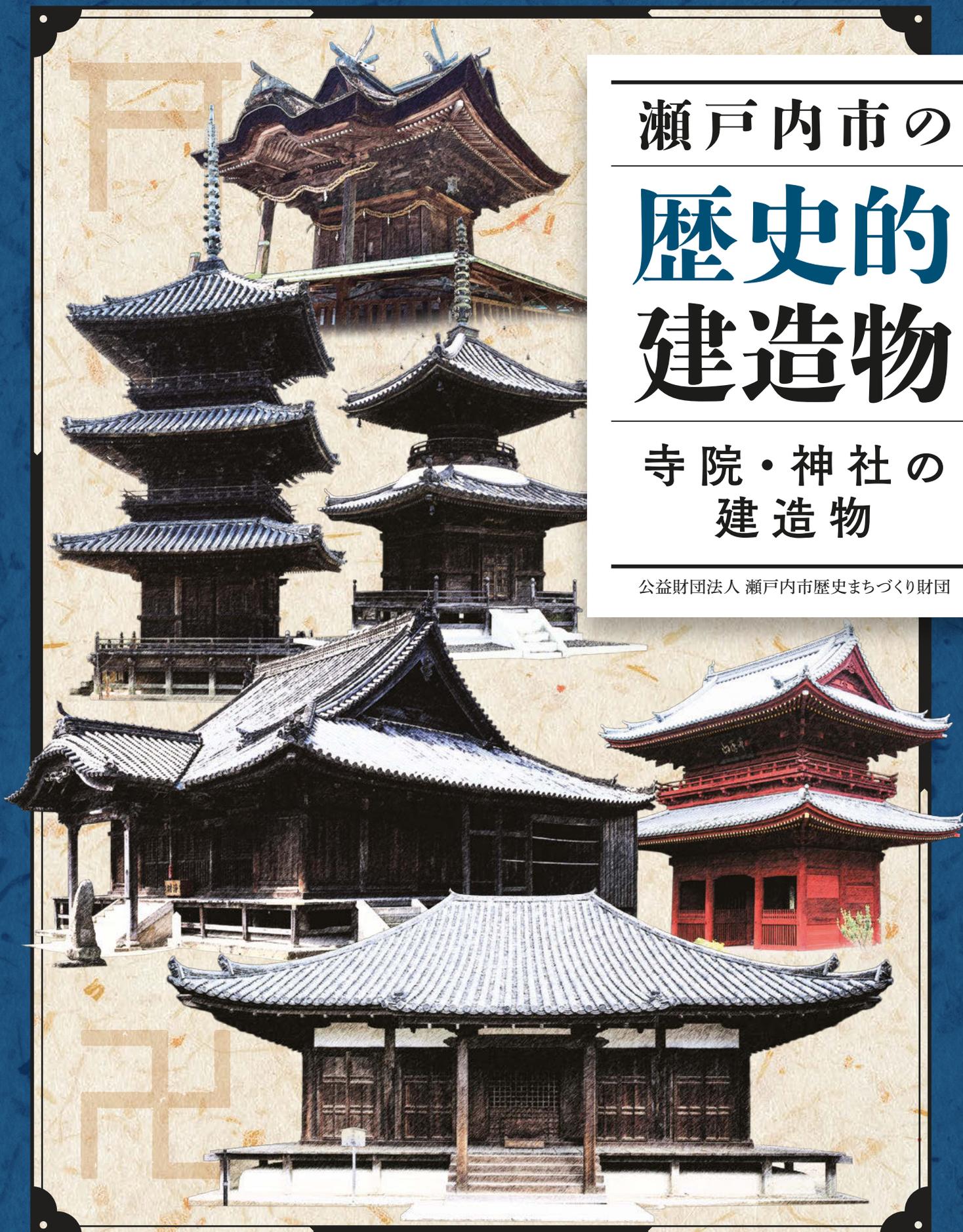


瀬戸内市の

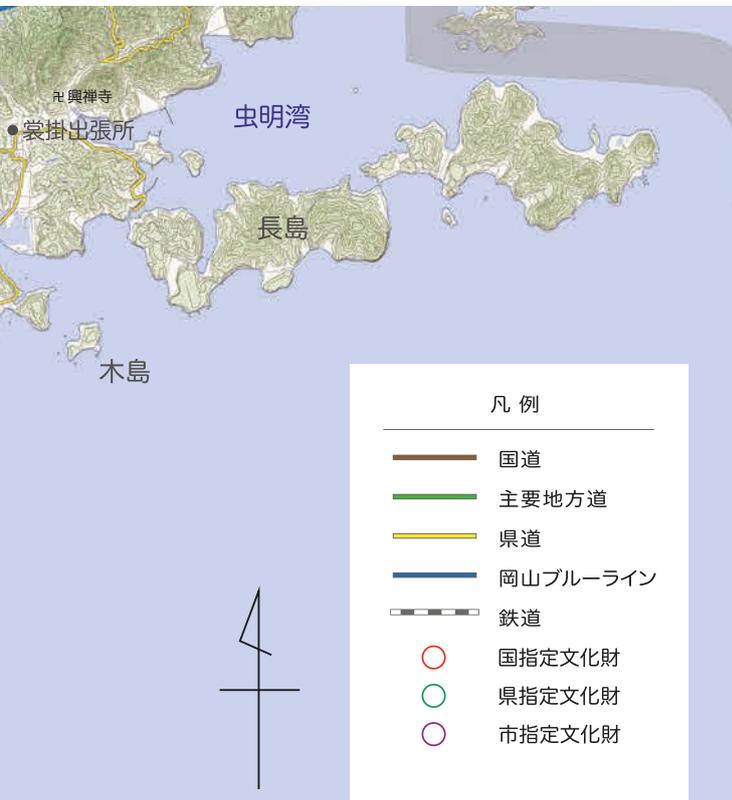
歴史的 建造物

寺院・神社の
建造物

公益財団法人 瀬戸内市歴史まちづくり財団



なかには内部が非公開の建物もありますが、外観からもその歴史的・文化的価値の高さや、地域の景観を象徴する建物であることがわかります。このパンフレットを手に、ぜひ瀬戸内市の歴史的建造物を巡ってみてください。



国土地理院の基盤地図情報を加工して作成

瀬戸内市の歴史的建造物一覧

牛窓町地域

- ① 本蓮寺本堂
牛窓町牛窓 | 国指定 | 室町時代 | 1942年6月26日指定
- ② 本蓮寺番神堂(3棟)
牛窓町牛窓 | 国指定 | 室町時代 | 1958年5月14日指定
- ③ 本蓮寺中門
牛窓町牛窓 | 国指定 | 室町時代 | 1970年6月17日指定
- ④ 本蓮寺三重塔
牛窓町牛窓 | 県指定 | 江戸時代 | 1980年4月8日指定
- ⑤ 本蓮寺祖師堂
牛窓町牛窓 | 県指定 | 江戸時代 | 1982年4月9日指定
- ⑥ 本蓮寺山門
牛窓町牛窓 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ⑦ 真光院本堂
牛窓町牛窓 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ⑧ 牛窓神社本殿
牛窓町牛窓 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ⑨ 観音院本堂
牛窓町牛窓 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ⑩ 鹿忍神社本殿
牛窓町鹿忍 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ⑪ 日吉神社本殿
牛窓町千手 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ⑫ 千次神社本殿
牛窓町千手 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ⑬ 弘法寺山門
牛窓町千手 | 県指定 | 江戸時代 | 1995年4月7日指定
- ⑭ 弘法寺常行堂
牛窓町千手 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定

邑久町地域

- ⑮ 餘慶寺本堂(附棟札2枚、厨子)
邑久町北島 | 国指定 | 室町時代 | 1979年5月21日指定
- ⑯ 餘慶寺三重塔(附棟札4枚)
邑久町北島 | 県指定 | 江戸時代 | 2002年3月12日指定
- ⑰ 餘慶寺鐘楼(附棟札1枚)
邑久町北島 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ⑱ 餘慶寺薬師堂
邑久町北島 | 市指定 | 江戸時代 | 2016年3月16日指定
- ⑲ 静円寺本堂
邑久町本庄 | 県指定 | 江戸時代 | 1956年4月1日指定
- ⑳ 静円寺塔婆(多宝塔)(附棟札)
邑久町本庄 | 県指定 | 江戸時代 | 1960年8月23日指定
- ㉑ 静円寺光明院薬医門
邑久町本庄 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ㉒ 静円寺光明院玄関
邑久町本庄 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定
- ㉓ 大賀島寺本堂(附棟札1枚)
邑久町豊原 | 市指定 | 江戸時代 | 2004年11月1日指定

経王山本蓮寺

瀬戸内市牛窓町牛窓



法華宗(本門流)の寺院。寺伝によると大覚大僧正がこの地を巡錫した際に法華堂を開き、永享10年(1438)に日暁が再興、長祿2年(1458)年に「本蓮寺」と改めたといひます。室町時代に牛窓の港を拠点に海運業で大きな力を有していたと考えられている豪族の石原氏が本蓮寺の後ろ盾となりました。境内は国指定の史跡「朝鮮通信使遺跡」になっています。

① 本蓮寺本堂

国指定重要文化財 | 室町時代
昭和17年(1942)6月26日指定

現在の建物は、棟木の墨書銘から本蓮寺の檀那であった石原氏の助力を受け、明応元年(1492)に再建されたことが分かります。正面五間、側面五間が亀腹の上に建ち、正面中央に向拝をつけています。屋根は寄棟造の本瓦葺、二軒疎極です。

均整の取れた外観が特徴で、室町時代の和様の美しさを感じられます。中世における木造小屋組の一端を示す学術的価値の高い建物です。



写真提供 瀬戸内市

② 本蓮寺番神堂(3棟)

国指定重要文化財 | 室町時代
昭和33年(1958)5月14日指定

法華経を守護する三十番神を祀った神堂で、覆屋の中に南面して建ち、東から東祠、中祠、西祠の3棟の建物が並んでいます。建築年代は、銘により向かって右

の東祠は応仁2年(1468)、左の西祠は明応9年(1500)、建築様式により中央の中祠は明応年間(1492-1501)と推測されています。どの社も保存状態がよく、室町時代の小形社殿の様式をよく示しています。

東祠と西祠は一間社流造で、屋根はこけら葺です。中祠は正面一間、側面一間の入母屋造で、向拝一間を付けています。屋根はこけら葺で、臺股にザクロの実がついています。



写真提供 瀬戸内市



写真提供 瀬戸内市



写真提供 瀬戸内市

③ 本蓮寺中門 ちゅうもん

国指定重要文化財 | 室町時代
昭和45年(1970)6月17日指定



写真提供 瀬戸内市

本堂と同じ明応元年(1492)頃の再建と伝えられています。2本の円柱を本柱とする棟門むねもんと呼ばれる形式のもので、本柱の前後に計4本の控柱ひかえばしらをもっています。扉は建立時のものは残っておらず、昭和51年(1976)の修理の際に、本堂の棧唐戸さんからどを模して作製したものです。

側面には裏股かえるまたを付けず、円柱を冠木上かぶきに延ばして上部を角束かくづかに加工し、大斗だいとをのせ棟木むなぎを受ける珍しい構法がみられます。



ワンポイント

軒の巴瓦の巴紋は尾が長いほうが古い瓦です。

④ 本蓮寺三重塔 さんじゅうのとう

県指定重要文化財 | 江戸時代
昭和55年(1980)4月8日指定

創建は棟札の写により元禄3年(1690)とわかります。平面は方三間、総高は18.1m。塔の構造は内部に四天柱しんぼしらをもち、心柱を初重の天井裏より立てています。屋根は本瓦葺、軒は各重とも二軒繁極ふたのきしげだるき くみもの、組物は各重で変化しています。軸部は粽付ちまきつきの円柱だいわを使用し、斗と拱きょうと花頭窓かとうまどは禅宗ぜんしゅう様の特徴です。均整のとれた構成、優れた意匠と技法がみられます。元禄時代の高い水準によって完成された華麗な三重塔と評価されています。

ワンポイント



ちまき
粽

柱の上下両端にあるすばみ。



写真提供 瀬戸内市

⑤ 本蓮寺祖師堂 そしどら

県指定重要文化財 | 江戸時代
昭和57年(1982)4月9日指定

創建の年代は不詳ですが、再建の時期については元禄4年(1691)と明和6年(1769)の二説があります。平面は正面三間、側面四間、正面の中央一間こうはいに向拝いりも やづくり ほんかわらぶきを付けています。屋根は入母屋造の本瓦葺です。

岡山県下で最大の規模をもつ祖師堂(開祖をお祀りする堂)で、柱、梁、建具の簡美な美しさ、屋根の大きさ、各部に見せる優雅な曲線が高く評価される建物です。



写真提供 瀬戸内市

⑥ 本蓮寺山門 さんもん

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

創建の年代は不詳ですが、現在の建物は18世紀中頃のものとして
されています。一間一戸の四脚門しきやくもんと呼ばれる形式です。屋根は
切妻の本瓦葺、両脇に真壁造の袖壁を付けています。

冠木と棟木間の彫刻は上下二段になっており、下段が獅子
をあしらった江戸時代後期の墓股かえるまた、上段は笈形付大瓶束おいがたつきたいへいづかです。



写真提供 瀬戸内市

室谷山金剛頂寺 むろ たにさんこんごうちようじ 真光院(通称:西寺) しんこういん にしでら

瀬戸内市牛窓町牛窓

高野山真言宗の寺院。報恩大師の開基で備前四十八カ寺のひとつと伝えら
れています。寛文6年(1666)の岡山藩主池田光政いけだみつまさによる寺院淘汰によって一
時廃寺となりましたが、元禄9年(1696)に再興されました。

⑦ 真光院本堂 ほんどう

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

現在の建物は文化元年(1804)に再建されたものです。平面は
正面五間、側面五間、前一間通りを開放型の外陣とし、柱間を三
間、中央を向拝こうはいとしています。屋根は入母屋造の本瓦葺です。大
形の向拝や格子戸が建物全体を重量感と風格を持ったものに仕上
げています。妻飾の装飾や、隅軒の隅木と垂木の取り合いなど、
細部の意匠に優れた技法と美しさを見ることができます。江戸時
代後期に完成された優れた寺院本堂であるとともに、木造建築として構造面においても価値が高い建物です。



写真提供 瀬戸内市

牛窓神社 うしまたじんじゃ

瀬戸内市牛窓町牛窓

社伝では、長和年間(1012~16年)に宇佐八幡宮からの勧請と伝えられています。
古くは牛窓八幡宮と言いましたが、明治6年(1873)に牛窓神社へ改称しました。

⑧ 牛窓神社本殿 ほんでん

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

創建の年代は不詳ですが、現在の建物は文化9年(1812)に再建され
たものです。平面は正面三間、側面二間、屋根は千鳥破風付入母屋造
で檜皮葺、正面には唐破風の向拝こうはいをつけています。屋根の形式は、近
世初期に発生した神社建築の様式を伝えるものです。細部の意匠には
豊かな彫刻が施され、江戸時代後期の円熟した装飾性がうかがえます。



写真提供 瀬戸内市

かい がん ざん みょう ふく じ
海岸山妙福寺

かん のん いん ひがし であら
観音院(通称:東寺)

瀬戸内市牛窓町牛窓

高野山真言宗の寺院。開基は報恩大師と伝えられ、寛文6年(1666)の池田光政による寺院淘汰によって一時廃寺となりましたが、元禄9年(1696)に再興されました。

ほん とう
⑨ 観音院本堂

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

現在の建物は鬼瓦の銘により延享3年(1746)の再建とされています。平面は正面五間、側面五間、正面中央一間に向拝をつけ、屋根は入母屋造で本瓦葺、軒は二軒繁極、破風に鰭付蕪懸魚を吊ります。豪華な妻飾は、江戸時代中期の密教本堂の様式をよく残しています。



妻飾はこのあたりの飾りをいいます。彫刻や金物などがみられます。

ワンポイント

か しの じん じゃ
鹿忍神社

瀬戸内市牛窓町鹿忍

社伝によると、神護景雲年間(767~770年)に再建とあり、古くは五社大明神と言いましたが、明治2年(1869)に鹿忍神社へ改称しました。

ほん でん
⑩ 鹿忍神社本殿

市指定有形文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

創建の年代は不詳ですが、現在の建物は18世紀中頃に再建されたものです。平面は正面三間、側面二間、三間の向拝をつけています。屋根は千鳥破風付入母屋造で銅板葺、軒に檜皮の軒付を残しています。破風には蕪懸魚を吊ります。向拝正面の軒唐破風の意匠は、近世初期の新しい建築様式の秀作といわれています。



写真提供 瀬戸内市

ひ え じん じゃ
日吉神社

瀬戸内市牛窓町千手

古くは山王宮・山王権現と呼ばれており、弘法寺の鎮守でした。

ほん でん
⑪ 日吉神社本殿

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

創建の年代は不詳、現在の建物は天明4年(1784)に岡山藩主池田宗政によって再建されたものです。平面は正面三間、側面一間の三間社流造です。屋根は元は檜皮葺(現在は銅板葺)、破風に鰭付蕪懸魚を吊ります。江戸時代中期の神仏分離以前の寺院における鎮守社の配置と建築様式を知ることのできる貴重な建物です。



写真提供 瀬戸内市

千次神社

瀬戸内市牛窓町千手

古くは地主権現と呼ばれており、この土地の神を弘法寺の地主神として祀った社殿と考えられています。明治3年(1870)に千次神社へ改称しました。

⑫ 千次神社本殿

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

創建の年代は不詳、現在の建物は天明4(1784)に岡山藩主池田宗政によって再建されたものです。平面は正面三間、側面二間、正面に向拝をつけています。屋根は流造で元は桧皮葺(現在は銅板葺)、破風に鯉付燕懸魚を吊ります。江戸時代中期に完成された三間社流造の形態を示す建物です。



写真提供 瀬戸内市

千手山弘法寺

瀬戸内市牛窓町千手

高野山真言宗の寺院。「弘法寺由来記」によると天智天皇の勅願による白雉年中(650~654)の起立で、奈良時代末に報恩大師が備前四十八カ寺の一つとして再興したといわれています。現在は遍明院、東寿院の二院があります。毎年5月に行われる駒供養で知られています。

⑬ 弘法寺山門

県指定重要文化財 | 江戸時代
平成7年(1995)4月7日指定

創建の年代は不詳ですが、現在の建物は棟札によると、享保8年(1723)に再建されたもので、棟梁は邑久郡山田村(現:瀬戸内市邑久町上山田)の尾形久兵衛とわかります。平面は正面三間、側面二間、中央通路幅一間の三間一戸と呼ばれる形式の門です。屋根は入母屋造で本瓦葺の大型の重層門です。木部はベンガラ塗が施された朱色です。江戸中期の山門として、美しさと風格を持った優れた建築と評価されています。



写真提供 瀬戸内市

⑭ 弘法寺常行堂

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

創建の年代は不詳ですが、現在の建物は天明元年(1781)に再建されたものです。屋根は寄棟造で本瓦葺、軒は各重とも一軒疎極です。正面中央の扉は棧唐戸、その左右の柱間と両側面の中央柱間に花頭窓が配された簡素な禅宗様の仏堂で、室内には瑠璃壇が設けられています。本尊の尊顔を礼拝できるように、上層部の正面中央に観相窓が設けられた、岡山では珍しい仏堂です。



写真提供 瀬戸内市

上寺山餘慶寺

瀬戸内市邑久町北島

天台宗の寺院で、天平勝宝元年(749)報恩大師の開基と伝えられています。古くは日待山日輪寺、本覚寺と言いましたが、そのころのことはよくわかりません。現在は本乗院、吉祥院、明王院、定光院、恵亮院、円乗院の六院があります。

⑮ 餘慶寺本堂(附 棟札2枚、厨子)

国指定重要文化財 | 室町時代
昭和54年(1979)5月21日指定

屋根は入母屋造の本瓦葺、正面五間、側面五間の五間堂で、中世密教本堂の特徴をよく遺した建築とされています。棟札によると永禄13年(1570)に建立、正徳4年(1714)に再建されました。正面の唐破風屋根の向拝、背面の下屋は、江戸時代後期の増築です。本尊の千手観世音菩薩をまつる厨子は入母屋造の宮殿型で桃山様式、須弥壇は禅宗様です。



写真提供 瀬戸内市

⑯ 餘慶寺三重塔(附 棟札4枚)

県指定重要文化財 | 江戸時代
平成14年(2002)3月12日指定

塔は三間三重の総高約21mで、本瓦葺の屋根に相輪をのせています。初重に四天柱を建て、心柱は初重の天井裏より建てる構造となっています。初重の木組みなどに見事な技法を見ることができ、棟札によると、邑久大工棟梁田淵市左衛門繁数とその一門によって建築されたもので、6年の歳月を費やして文化12年(1815)に完成しました。



写真提供 瀬戸内市

⑰ 餘慶寺鐘楼(附 棟札1枚)

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

嘉永3年(1850)に田淵勝永によって再建された鐘楼(梵鐘を吊る建物)です。重層袴腰付鐘楼と呼ばれるもので、正面三間、側面二間、通柱はなく、上層の円柱は下層の梁の上に建てられています。屋根は入母屋造の本瓦葺、裏表に軒唐破風をつけ、豪華な意匠となっています。江戸末期の再建ながら、桃山末期から江戸初期の様式を残しているとされています。



写真提供 瀬戸内市

18 餘慶寺薬師堂 やくしどう

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成28年(2016)3月16日指定

創建は桃山時代末期の慶長元年(1596)、その後、江戸時代前期の万治2年(1659)に再建され、現在の建物は江戸時代中期の享保19年(1734)に再度再建されたものです。正面五間、側面六間の大型の仏堂で、屋根は入母屋造の本瓦葺いりも やづくり ほんかわらぶきとなっています。二度の再建を経るも中世仏堂の古い様式を継承し、創建以来の経緯が判明している稀な古建築です。



写真提供 瀬戸内市

横尾山静円寺 よこおざんじょうえんじ

瀬戸内市邑久町本庄

高野山真言宗の寺院。天平2年(730)行基の開基、その後天平勝宝年中報恩大師によって建立されたと伝えられる備前四十八カ寺のひとつです。かつて三十三坊を数えましたが、現在は寺内に光明院、地藏院、安楽院の三院があります。

19 静円寺本堂 ほんどう

県指定重要文化財 | 江戸時代
昭和31年(1956)4月1日指定

天正7年(1579)に現在地の西側の山上に再建されていたものを、元禄年間(1688~1704)に現在地に移築したものとされています。屋根は入母屋造で本瓦葺いりも やづくり ほんかわらぶき、五間堂で一間の向拝を付け、中世密教本堂の平面形式や移築の際に桃山時代の部材を再利用しているところに特徴があります。臺股かえるまたの一部に桃山の様式が残っています。長い直線の大棟、深い軒の出、中央の柱間を広くとって外側にむかうほど狭くする正面の柱割りなどによって外観を壮大なものに仕上げています。



写真提供 瀬戸内市

20 静円寺塔婆(多宝塔)(附棟札) とうば たほうとう つけたりむなふだ

県指定重要文化財 | 江戸時代
昭和35年(1960)8月23日指定

現在の建物は、棟札によると元禄3年(1690)に再建されたものです。総高約12m、宝形造の屋根に相輪を据えた小型の塔です。平面形式は初重が方三間、上層が円筒形となっており、高度な大工技術をうかがうことができます。また初重と上層の幅は、長保寺多宝塔(国宝 和歌山県海南市)や法道寺多宝塔(国重文 大阪府堺市)といった中世の代表的な塔と同様の比率に仕上げられ、均整のとれた優れた塔となっています。



写真提供 瀬戸内市

②1 静岡寺光明院薬医門

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

文政12年(1829)に作られた光明院の表門です。一間一戸の薬医門と呼ばれる形式の門で、2本の本柱と2本の控柱を建て、側面からみると棟木が扉筋より後ろにずれた位置にあることがわかります。多くの彫刻に飾られた華麗な薬医門で、江戸後期の傾向である彫刻大工の建築に対する情熱と優れた技術を示すものとして貴重です。棟梁は上山田の山瀬平市、大工は尾形太郎左衛門であることがわかっています。



②2 静岡寺光明院玄関

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

屋根は向唐破風造で本瓦葺の客殿玄関です。客殿は正徳4年(1714)、岡山藩家老伊木家当主の伊木忠義によって再建されたもので、玄関はその後作られたとされています。伊木氏が静岡寺参詣の際に駕籠が横付けされるため、玄関の幅を二間半に拡張したものと伝えられています。



写真提供 瀬戸内市

大雄山大賀島寺

瀬戸内市邑久町豊原

大雄山の山頂に位置する天台宗の寺院で、奈良時代に開基し、その後、報恩大師が備前四十八力寺のひとつに加えたと伝えられています。近接する砥石城の城主宇喜多氏の菩提寺と伝えられています。

②3 大賀島寺本堂(附棟札1枚)

市指定重要文化財 | 江戸時代
平成16年(2004)11月1日指定

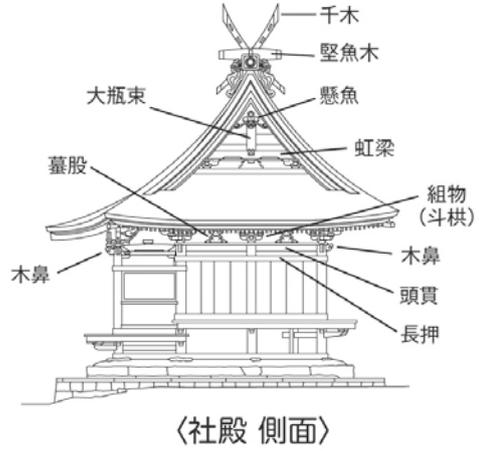
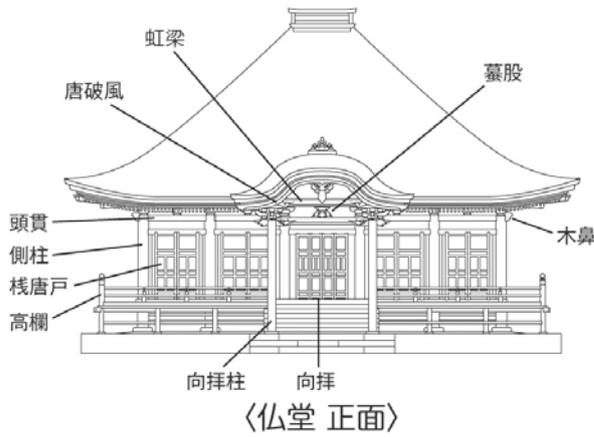
現在の建物は安永10年(1781)に棟梁尾形多三郎規達らによって再建されたものです。岡山県下でも最大級の本堂です。正面五間、側面六間で、一間の向拝がつき、屋根は入母屋造で本瓦葺です。軒は二軒繁檼です。正面は中央柱間を広く、外側をせまくすることで雄大さを演出し、細部の意匠には安土桃山時代から江戸時代初期にかけての確実性をもつとされます。前二間を開放型の外陣とし、中央三間に部戸を吊り、欄間や欄間横の地紋彫、手挟、臺股など、様々な彫刻の装飾がみられます。



写真提供 瀬戸内市

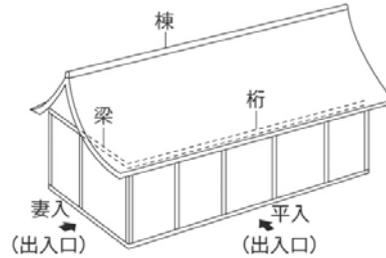
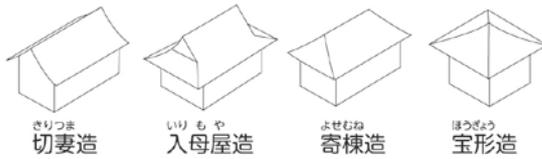
古建築の様式について

(岡山県教育委員会 2013「おかやまの古建築さんぽ」より)



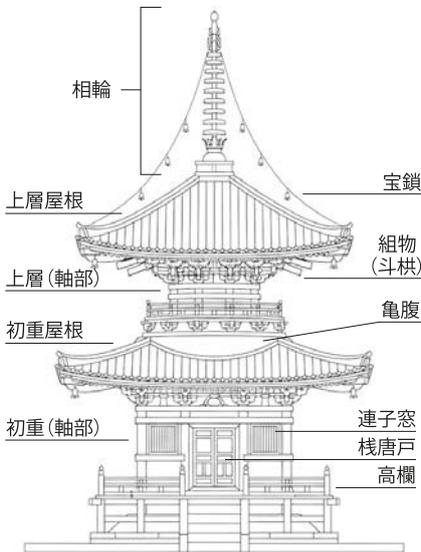
屋根の形式

(岡山県教育委員会 2013「おかやまの古建築さんぽ」より)

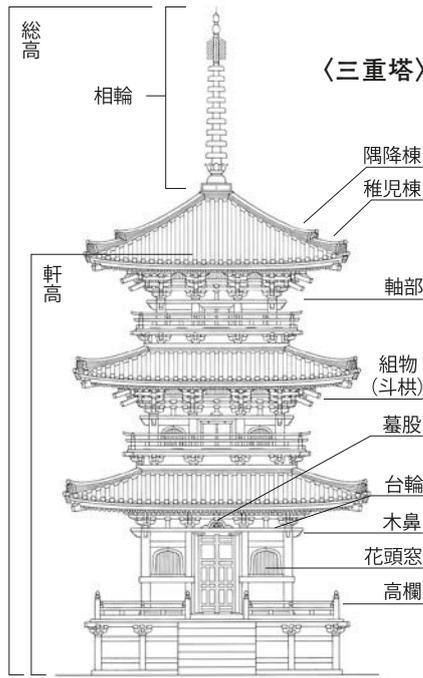


塔の様式

〈多宝塔〉



〈三重塔〉



●主要参考文献

- ・ 邑久町史編纂委員会編 2009『邑久町史通史編』瀬戸内市
- ・ 邑久町史編纂委員会編 2005『邑久町史地区誌編』瀬戸内市
- ・ 邑久町史編纂委員会編 2002『邑久町史文化財編』邑久町
- ・ 牛窓町史編纂委員会編 2001『牛窓町史通史編』牛窓町
- ・ 牛窓町史編纂委員会編 1996『牛窓町史資料編Ⅰ 美術・工芸・建築』牛窓町
- ・ 邑久町文化財保護委員会・邑久町教育委員会編 1987『邑久町の文化財』邑久町教育委員会
- ・ 小林久磨雄編 1954『改訂邑久郡史下巻』邑久郡史刊行会
- ・ 瀬戸内市産業建設部文化観光課 2024『瀬戸内市文化財探訪マップ』
- ・ 岡山県教育委員会 2013「おかやまの古建築さんぽ」

●協力

一般社団法人 勸進プロジェクト 山崎真由美、瀬戸内市

瀬戸内市の歴史的建造物 —寺院・神社の建造物—

発行日 2026年2月

編集・発行

公益財団法人

瀬戸内市歴史まちづくり財団

岡山県瀬戸内市牛窓町長浜5092

TEL 0869-24-7788

FAX 0869-24-7008

